

TERRA PROVENCE

自然に寄り添う香りが次代の主流へ



ヴィクトワール・エラン氏

ボディソープ特集 ······
(5)

合成香料本来のフレグランスとしての役割から逸脱し「強さ」や「主張」だけを目的とした香りが氾濫した結果、香りによって不快感や体調不良を引き起こす、いわゆる「香害」が社会問題として認識されるようになつた。こうした状況の中、化粧品やフレグランス分野では、自己主張よりも周囲と調和し、自然に寄り添う香りを求める価値観の変化が、ナチュラル・オーガニック原料への需要拡大を後押ししている。

成分の安全性や環境配慮への意識の高まりとともに、「香りそのもののあり方」が問われるようになり、オーガニックコスメ(クリーンビューティ)は主流の選択肢へと移行しつつある。

合成原料で構成された調合香料は、コストや効率を優先するあまり、天然由来のアコードを軽視した設計がなされてきた側面がある。その結果、人の感覚や生活空間との調和を欠いた香りが広がり、「香害」を生む一因となつた。

一方、植物由来の香りは、「水に香料を添加する」という発想とは本質的に異なり、植物が育つ過程で水とともに蓄積してきた芳香成分が、穏やか

に拠点を構え、豊かな自然環境と伝統に根ざして

いる。全製品でオーガニック認証を取得し、「100%ピュア&ナ

日本で本格供給を開始 仮オーガニック原料企業が

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

「日本は自然が身近にあります。香りそのもののあり方」を表現する。

週刊粧業

発行所 週刊粧業®
東京都文京区小日向4-5-10
(小日向サニーハイツ501号室)〒112-0006
電話 (03)3836-2601
FAX (03)3836-2602
週刊粧業ホームページアドレス
<https://www.syogyo.jp>
Eメールアドレス
letter@syogyo.jp
©週刊粧業 2026

浸漬製造の様子



新たな付加価値

を与える原料と

して注目されて

いる。そのほか、

植物の種子や果

実から圧搾され

る植物油を取り

扱い、顧客製品

に自然由来なら

ではの価値を提

供している。

社内には抽出

室、浸漬室、分

析・研究開発ラボを完備

し、徹底した品質管理体

制を構築。近年はオーガ

ニック・ハイドロソル専

用の無菌ろ過クリーン

ルームを新設するなど、

最新設備への投資も進め

てきた。

同社は1991年、「未

来世代のために地球環境

を守る」という理念のも

と設立された。現在は

ヴィクトワール・エラン

氏が経営を引き継ぎ、技

術力と生産体制の強化を

推進する。2026年を

本格的な商業展開の年と

位置づけ、その第一歩と

して日本市場を選んだ。

香りを「主張するもの」

から「寄り添うもの」へ。

さらに、蒸留過程で得

られるフローラルウォ

ー(ハイドロソル)は、

この選択は、今後の市場

で確かな存在感を示して

いきそうだ。